

☆☆☆ 朝 礼 講 話 ☆☆☆

1月26日(月)

「心に太陽を持って」

講話 2年担任 菅原真希



みんなは、今日どんな気持ちで学校にきましたか？
楽しみだなあ。友だちと何を話そうかな。今日は好きな教科があるからうれしいな。今日習う漢字は何かかな。もうすぐ今の学年も終わりだな。給食の献立表見てくれば良かったな。なわとびの種目、今日こそ跳べるようになりたいな。図書室の本を返すのを忘れないようにしないとイケないな。寒いなあ。

いろいろ思いますよね。他にもあるのではないですか？

別にいつものことだし、勉強はやらなきゃいけないからやるんだし。やりたくないからってやらなくていいことばかりじゃないし。学校休む理由もないし。算数いやだなあ。国語の作文いやだなあ。できない訳ではないけどめんどくさい。掃除いやだなあ、水は冷たいし、汚いし、別に自分がやらなくたっていいし、みんなそんなにやってないし、自分だけやったってきれいにならないし、ほめられたってたいしてうれしくないし、ちょっとはうれしいけど。怒られたくはないから、怒られない程度にやればいいや。…いろいろあるでしょう。



わたしは、十四山東部小学校の先生です。そして2年生の担任の先生です。2年生の先生であり、十四山東部小学校の先生です。

がんばって学校へ来たみんなには、”学校でしかできないことを” ”できたよろこびを” ”くやしい思いを” ”楽しいことを” ”めんどくさいことを” 全校で、ふれあい班で、クラスで、グループで、感じてほしいと思います。みんなで一緒に、力いっぱい何かをすることを楽しんでほしいと思っています。

学校での「やる気スイッチ」は、自分がやりたいことを やりたい時に 入れればいいのでしょうか？話したいときに話し、聞きたいときに聞けばいいのでしょうか？自分のタイミングだけでいいのでしょうか？



全校で「心に太陽を持って」という詩を音読します。暗唱を目指します。心の中にしまっておけるように心を素直に音読・暗唱をしましょう。

心に太陽を持って

フライシユレン

山本 有三

訳 作

心に太陽を持って。

あらしが ふこうと

ふぶきが こようと

天には 黒くも、

地には 争いが絶えなかつと、

いつも 心に太陽を持って。

くちびるに歌を持って、

軽く、ほがらかに。

自分のつとめ、

自分のくらしに

よしや苦勞が絶えなかつと、

いつも、くちびるに歌を持って。

苦しんでいる人、

なやんでいる人には、

こう、はげましてやろう。

「勇気を失うな。

くちびるに歌を持って。

心に太陽を持って。」

十四山東部小学校のみんなが、素直な心を忘れず、力いっぱい学校生活を送ってほしいと応援しています。



なわとび集会に向けて



2月12日（木）のなわとび集会に向けて、13日（火）から練習が始まりました。

ふれあい班ごとに集まって、最初に短縄の練習をしています。高学年が、「二重跳びのときは、縄をこんなふうに回すといいよ」などとアドバイスしたり、「あとちょっとで跳べるからがんばって」と励ましたりしながら練習を進めています。



練習の後半は、長縄の練習をしています。八の字跳びでは、縄に入るタイミングがつかめない1年生に高学年が、「ハイ」と声をかけてあげたり、背中を押してあげたりしてタイミングを教えています。また、今年から新しく種目になった、全員そろっての長縄跳びも行っています。並び方や声のかけ方など班ごとに工夫して練習を進めています。



なわとび集会当日は、きっと全員が自己記録を更新するがんばりを見せてくれると思います。まだまだ寒い時期ですが、ぜひご参観いただき、応援をよろしくお願いします。